



蟲魔族の孕み袋

多胎苗床化



米子腹の本屋

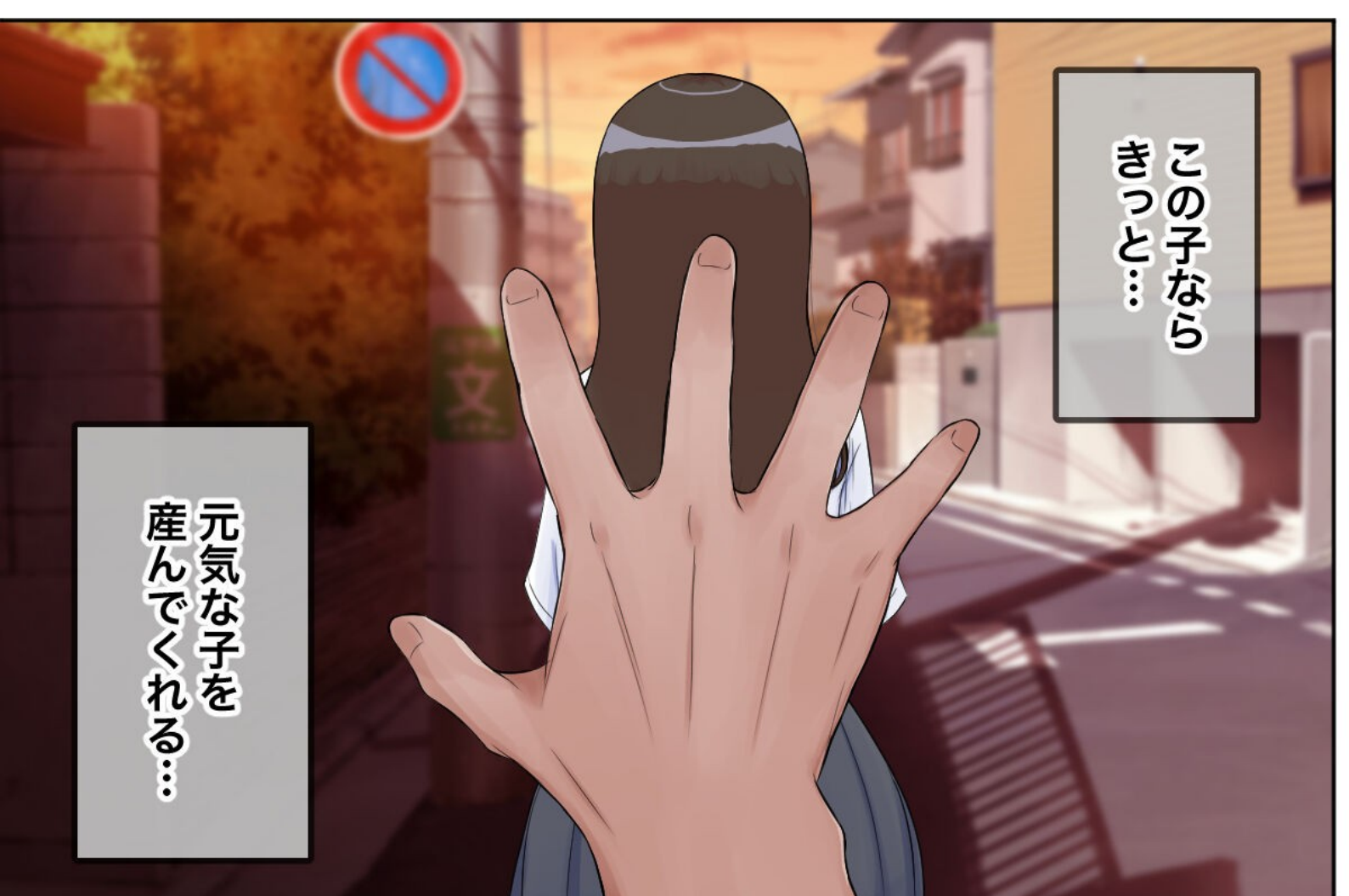
夕方の下校時間

近くの高校に通う
とある女の子に
俺は目をつけた





いつも一人で
下校をしている
大人しそうな子だ…



この子なら
きっと…

元気な子を
産んでくれる…



やめて…
家に帰して…



ただ…
この子を受け入れて
ほしい…



怖がらないで…
暴れさえしなければ
ケガはしないから







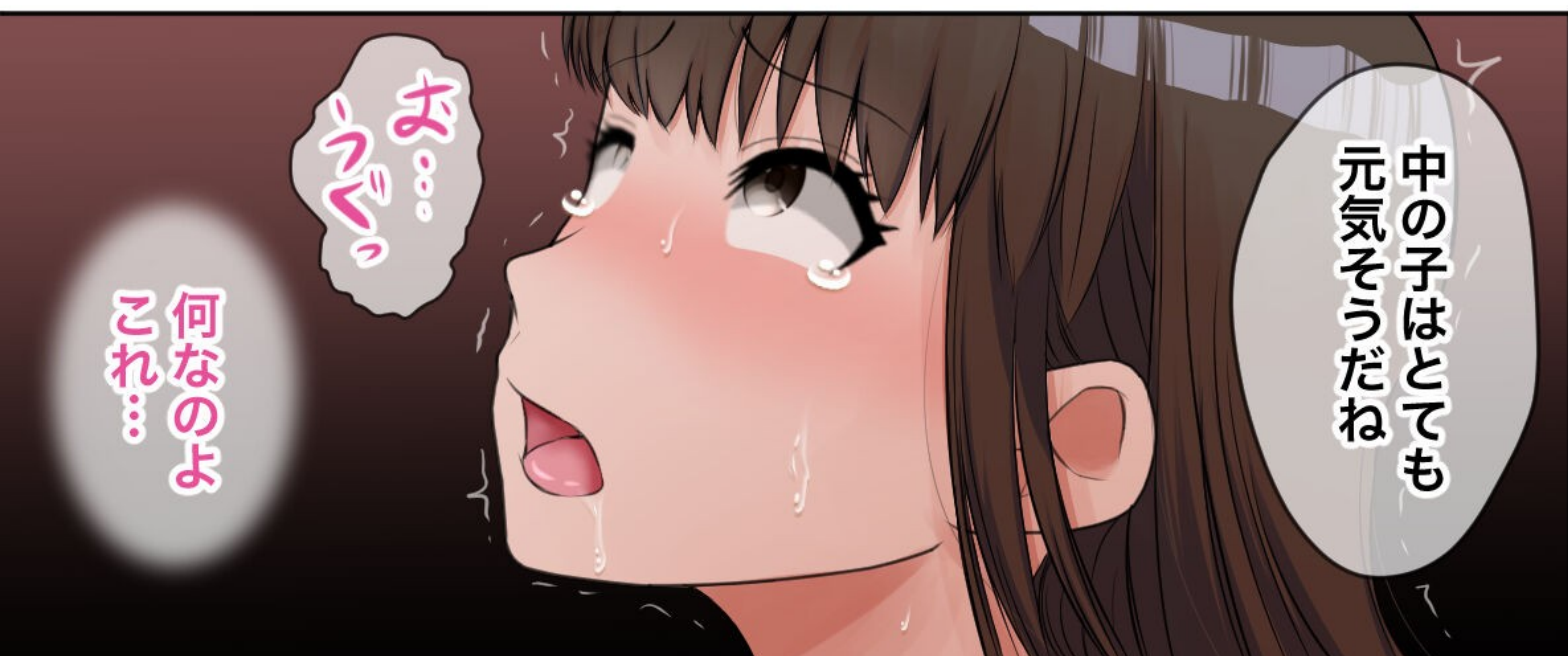
一週間後

ああああ…

たった一週間だけど
もうすっかり
立派なお腹になったね

たっくさんの
子供たちができたよ





お腹の中を
動かれるたびに…

ガッ

カッ
グッ…

子宮の内側を
こすられて気持ち良い…

ゼッ

ゼッ

ゼッ





狭いな…
ギチギチだ…

やめ…

うあ
あ
あ

IP!
IP!
IP!









あひっ



子宮潰れる...





もう拘束具も
いららないな



こんなにお腹が
大きければそもそも
動けないだろ？

ほら…
動けるか？

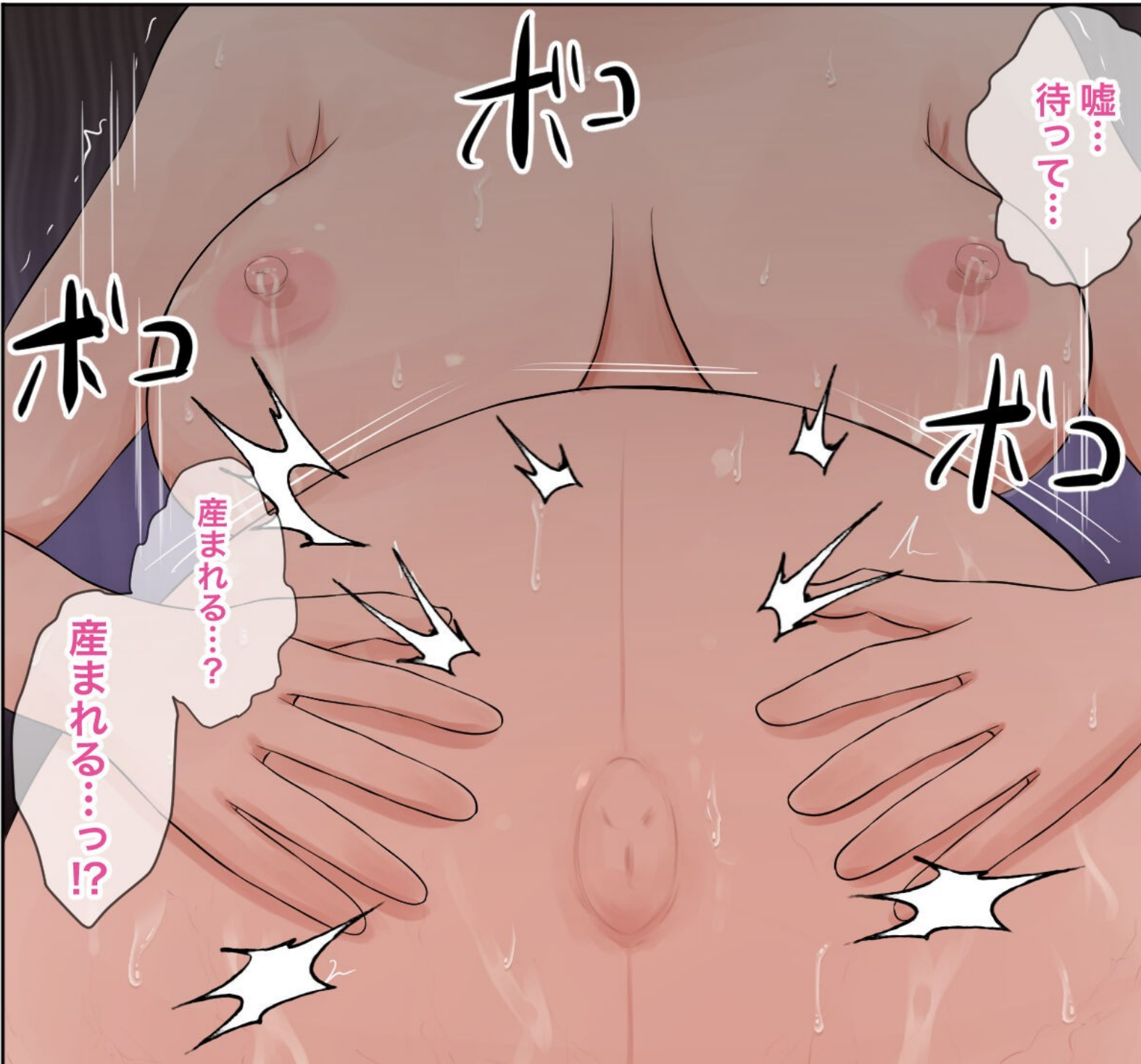
ああああ…

いやあ…









お腹が変ッ

やだぁぁぁ

俺の精液に
反応したかな？

もう出産が
始まるんだね…



産まれる!!

産んじやうっ!!?

あ

あ

あ

あ

ん

ん

ん

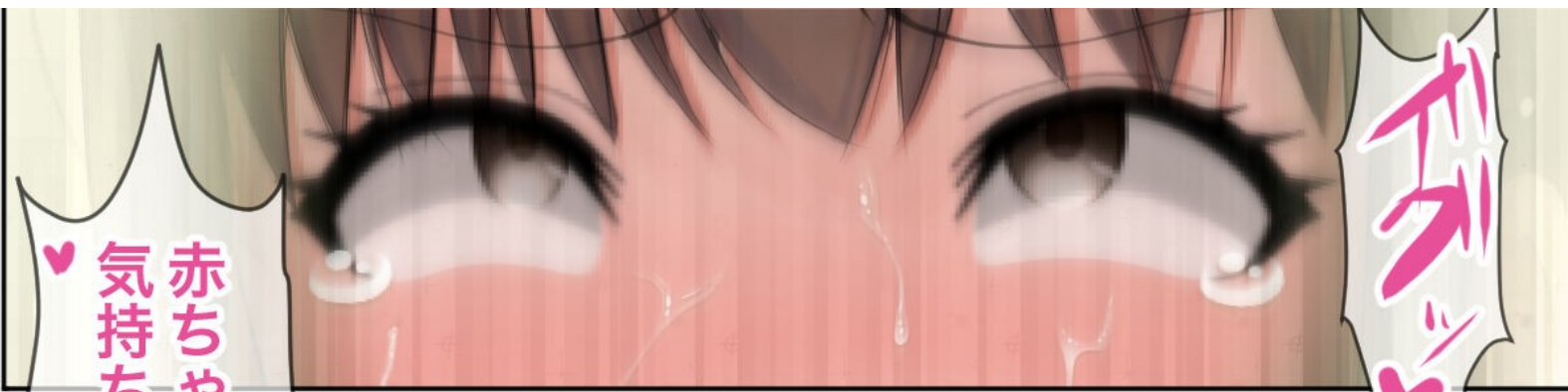
ん

あ



うわー

だっ
うわー



♡ 赤ちゃん出すの
気持ち良い
♡ 気持ち良い♡



あうっ

赤ちゃん産むのは
楽しかった？

サス

まだまだたくさん
このお腹の中に
赤ちゃんが
いるんだから…

さて…
休んでる暇は
ないよ

サス

ズキッ

いやああ…

もう
産みたくない…

産みたく…

かっ

かっ



お疲れ様…

たくさんの
赤ちゃんが産まれたよ



子宮の中が空いたなら
また妊娠させて
あげなきゃね

何度でも出産させて
あげるよ…

君が可能な限り
何度でもね…

